

防災とGIS

- ・中越沖地震より10年目という節目を迎えるにあたり、当時の活動を振り返ります。
- ・災害対策本部で活用する関連技術・要素技術を概観します。
- ・防災減災のため、最新技術の利用イメージ、動向などをご紹介します。



新潟県中越沖地震 青海川駅 (防災情報新聞より)



新潟県中越沖地震 道路 (防災情報新聞より)

名称	第11回 特別講演セミナー「防災とGIS」
日程/時間	平成29年11月20日(月) 受付9:20～ 講演10:00～17:10 (詳細裏面)
場所	ホテル日航新潟 新潟市中央区万代島5番1号 TEL 025-240-1888
参加費/定員	参加費 無料 / 定員 200名
主催/共催	にいがたGIS協議会 一般社団法人地理情報システム学会
後援	国土地理院北陸地方測量部 新潟県 新潟県IT&ITS推進協議会 公益財団法人にいがた産業創造機構 新潟県IT産業ネットワーク21

「防災とGIS」～中越沖地震10周年 EMC活動を振り返る～ ご挨拶とセミナー参加へのお誘い

昨今、地球温暖化による台風や竜巻の頻発、火山活動の活発化、巨大地震の多発など日本を直撃する自然災害が数多く発生しています。新潟県関係でも7.13新潟福島豪雨水害(2004)、中越地震(2004)、平成18年豪雪(2006)、中越沖地震(2007)、長野北部地震(2011)、新潟福島豪雨(2011)など、多くの災害に見舞われ人命や財産が失われています。これらの自然災害に立ち向かうため、近年、ソフト施策としてGISの活用の有効性が評価されています。

また、阪神淡路大震災の直後、1995年7月(平成7年)に改定された「防災基本計画」の重点施策に地理情報システム(GIS)の活用推進が盛り込まれて以来、「防災とGIS」の歴史はすでに20年以上経過しています。新潟県防災計画にもGIS活用が記載されてから4年が経過しました。

災害対策本部内で実際にGISを活用し成功した事例としては、2007年の中越沖地震におけるEMC活動が起点ともいえるでしょう。

県内を概観しますと市町村におけるGIS活用は住民に情報配信するため、また庁内業務の効率化では統合型GISの利用が盛んになってきました。しかし、防災分野でのGIS活用はまだ少ない状況です。

さて「にいがたGIS協議会」が主体的に参加した中越沖地震から10年目の節目の年となります。この地震では災害対策本部に隣接して、災害の発生と同時に並行で被災状況を地図化するEMC(Emergency Mapping Center)を設置しました。

新潟発EMC活動を、10年目にあたるこの時期に振り返るためセミナーを企画しました。

本セミナーを通じて、もう一度防災分野におけるGISの活用を振り返る機会となれば幸甚でございます。お時間の許す限り、皆さまお誘いの上是非ともお越しください。ご来場を楽しみにお待ちしております。

にいがたGIS協議会 会長 坂井 宏子

◆ 申込方法

別紙のセミナー参加申込書に必要事項をご記入のうえ、メール、FAX、にいがたGIS協議会ホームページのいずれかでお申し込みください。なお、定員になり次第、締め切らせていただきます。

- メール : nga_office@niigatagis.com
- FAX : 025-285-6699
- にいがたGIS協議会ホームページ : <http://www.niigatagis.com/>

※お申し込みの際は、申し込み確認用(返信用)のメールアドレスを必ずご記載ください。

◆ 申込期限 平成29年11月16日(木)

◆ 問合せ先 にいがたGIS協議会事務局(株式会社プレス内) 須田、坂井、武藤宛
〒950-0954 新潟市中央区美咲町1丁目4-15
TEL : 025-282-2600 FAX : 025-285-6699 E-mail : nga_office@niigatagis.com



＜アクセス方法＞

- 新潟駅から路線バスで15分
(佐渡汽船行 朱鷺メッセ下車)
- タクシー 5分/徒歩 20分



にいがたGIS協議会 特別講演セミナー 開催プログラム・スケジュール

全日の部

会員企業 賛助会員企業

10:00-17:10

各社の最新技術を紹介したパンフレット

入り口正面に会員企業、賛助会員企業の最新技術を紹介したパンフレットがございます。是非、手に取ってご覧ください。

午前の部

賛助会員企業

賛助会員企業の最新技術を紹介いたします

10:00-11:50

各社プレゼミナー

講演 グローバル・サーベイ株式会社
代表取締役 須藤 三十三 氏
「Society5.0に向けて ～サイバーとフィジカルを行き来する道路調査～」

講演 株式会社NTTデータCCS
ビジネスソリューション事業本部科学環境システム事業部営業部 今井 淳 氏
「災害対応におけるSNS情報と人工知能の活用について」

講演 ESRIジャパン株式会社
コンサルティンググループ第一グループ 部長 名和 裕司 氏
「EMCから10年、当時のGIS・現在のGIS」

休憩

休憩

休憩・食事のためしばらく閉場いたします

11:55-13:15

講演会場 閉場

午後の部

主催者挨拶

EMC活動についてご紹介いたします

13:15-13:25

挨拶 にいがたGIS協議会 会長 坂井 宏子

午後の部

挨拶

13:25-13:30

挨拶 新潟県知事 米山 隆一 氏

午後の部

基調講演

熊本地震、九州北部豪雨で活用した事例を紹介いたします

13:30-14:50

ビデオメッセージ

国立研究開発法人 防災科学技術研究所 理事長 林 春男 氏



基調講演 国立研究開発法人 防災科学技術研究所
センター長 臼田 裕一郎 氏



「熊本地震・九州北部豪雨におけるGISを活用した情報共有
～先人の取り組みを学び、
府省庁連携防災情報共有システム「SIP4D」に繋いで～」

休憩

休憩

14:50-15:00

午後の部

特別講演

GISを実際の医療活動に利用した事例を紹介いたします

15:00-16:00

特別講演 新潟大学工学部 教授 牧野 秀夫 氏
「超急性期から復興期までの医療活動におけるGIS応用」



午後の部

講演

3次元データとGIS、i-Constructionの広がりをご紹介いたします

16:05-17:05

講演 株式会社エリジオン
プロダクトマーケティング 吉富 望 氏
「エリジオン及び3D点群のご紹介」



EMC活動 (Emergency Mapping Center)

中越沖地震では、災害対策本部に隣接して災害の発生と同時に並行で情報の可視化を行うべくEMCを設置しました。災害対策本部からのさまざまな依頼に対して、GISを活用し各種主題地図(被災状況や復旧状況などを示した地図)を作成しました。

GIS技術

GISは地図を電子化しPCなどで簡単に使える仕組みです。紙地図と異なり、更新や加工を手軽に行えます。また、データベースと連携させることができ、文字や写真、ファイルなどの連携もできます。

位置情報

ひと、もの、こと、場を管理する情報のことです。座標や緯度経度で位置を表します。

AI (人工知能 : Artificial Intelligence)の略

コンピュータを使って、学習・推論・判断など人間の知能のはたらきを人工的に表現したものです。

協議会会員企業

正会員

- 株式会社BSNアイネット
- 株式会社キタック
- 金井度量衡株式会社
- 株式会社プレス

賛助会員

- インクリメント・ピー株式会社
- ESRIジャパン株式会社
- 株式会社NTTデータCCS
- グローバル・サーベイ株式会社
- 株式会社GISリサーチアソシエイツ
- 株式会社ゼンレンジオインテリジェンス

特別会員

- 国立大学法人 新潟大学

